

平成30年2月7日

しながわ区民公園南側ゾーン 改修計画について (第2回)

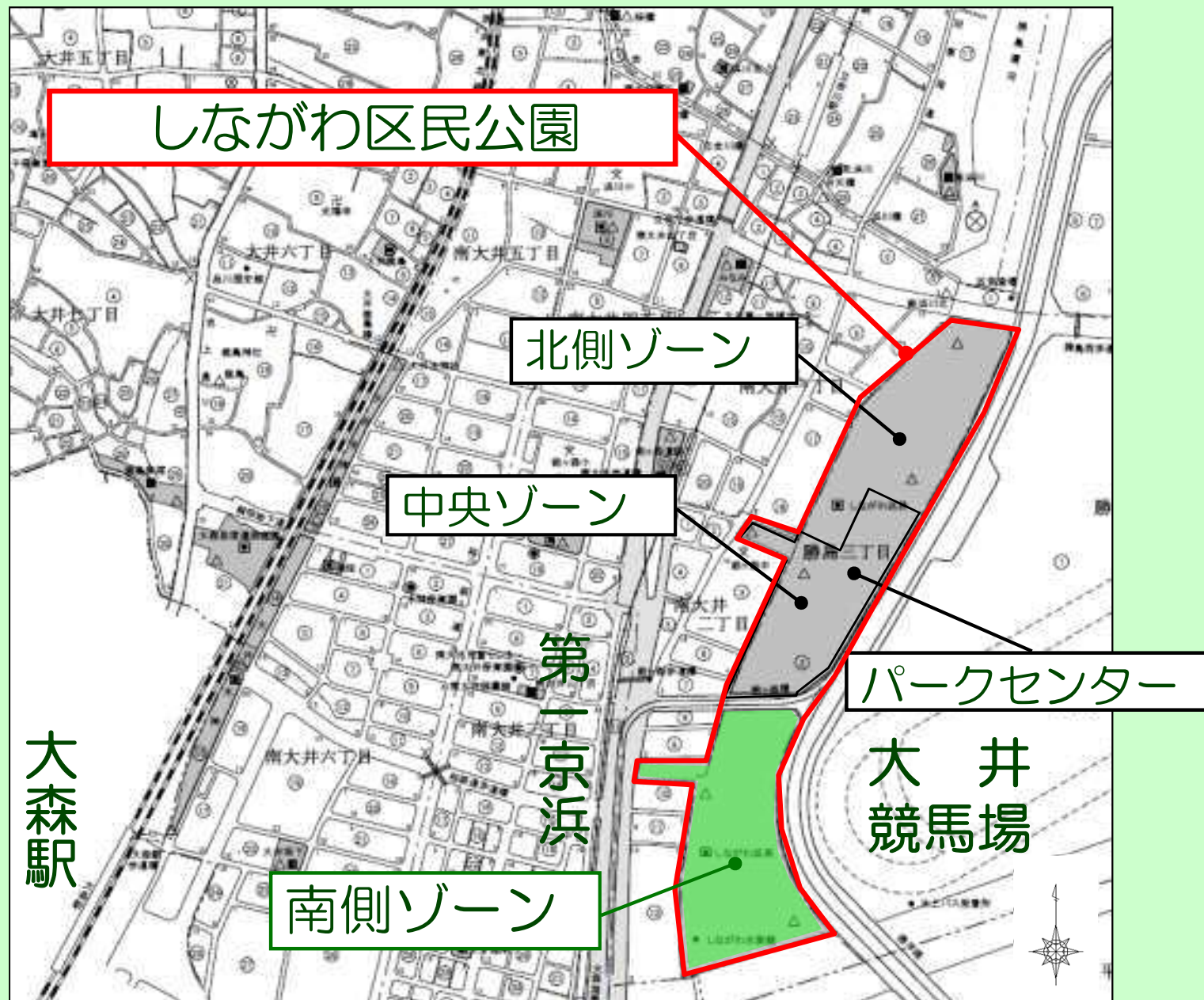
品川区



次 第

- ① 開 会
- ② 職員紹介
- ③ 公園改修計画説明
- ④ 全体スケジュール
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 閉 会

改修計画範囲



現況平面図



南側ゾーンの整備方針について

- 老朽化した施設の更新
- バリアフリーへの対応
- 利用者ニーズへの対応
- 水族館アプローチ部の魅力向上
- 樹勢が衰退した樹木への対応
- 防災機能の強化

全体計画図

勝島の海

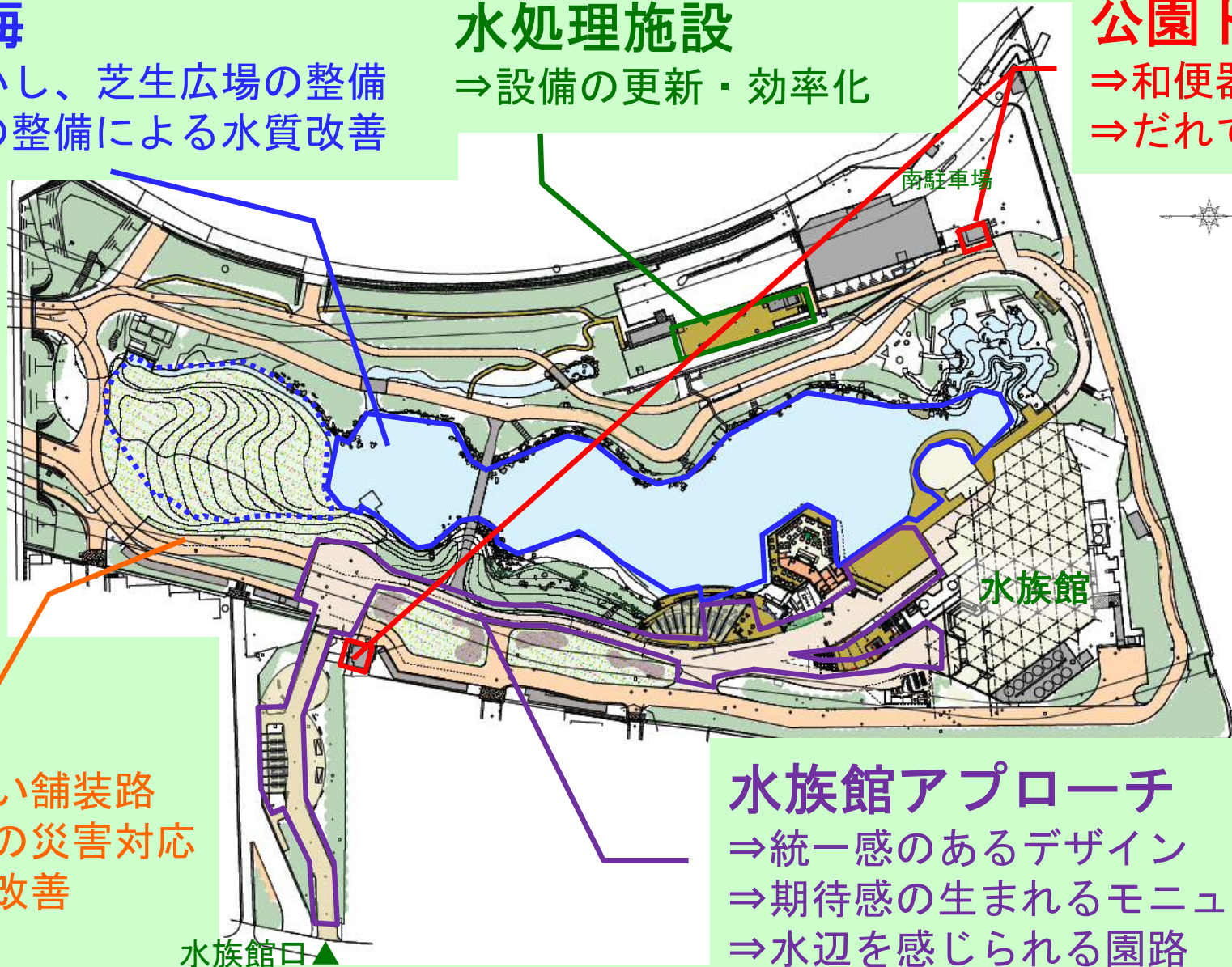
- ⇒一部縮小し、芝生広場の整備
- ⇒噴水等の整備による水質改善

水処理施設

- ⇒設備の更新・効率化

公園トイレ

- ⇒和便器の洋式化
- ⇒だれでもトイレの整備



園路

- ⇒歩きやすい舗装路
- ⇒主要園路の災害対応
- ⇒見通しの改善

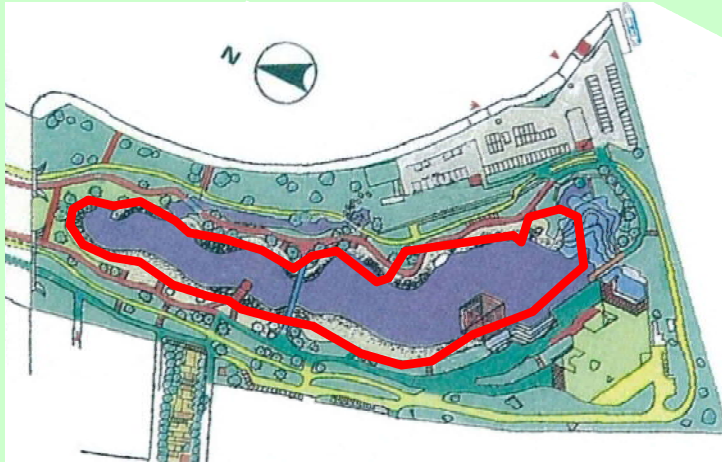
水族館アプローチ

- ⇒統一感のあるデザイン
- ⇒期待感の生まれるモニュメント
- ⇒水辺を感じられる園路

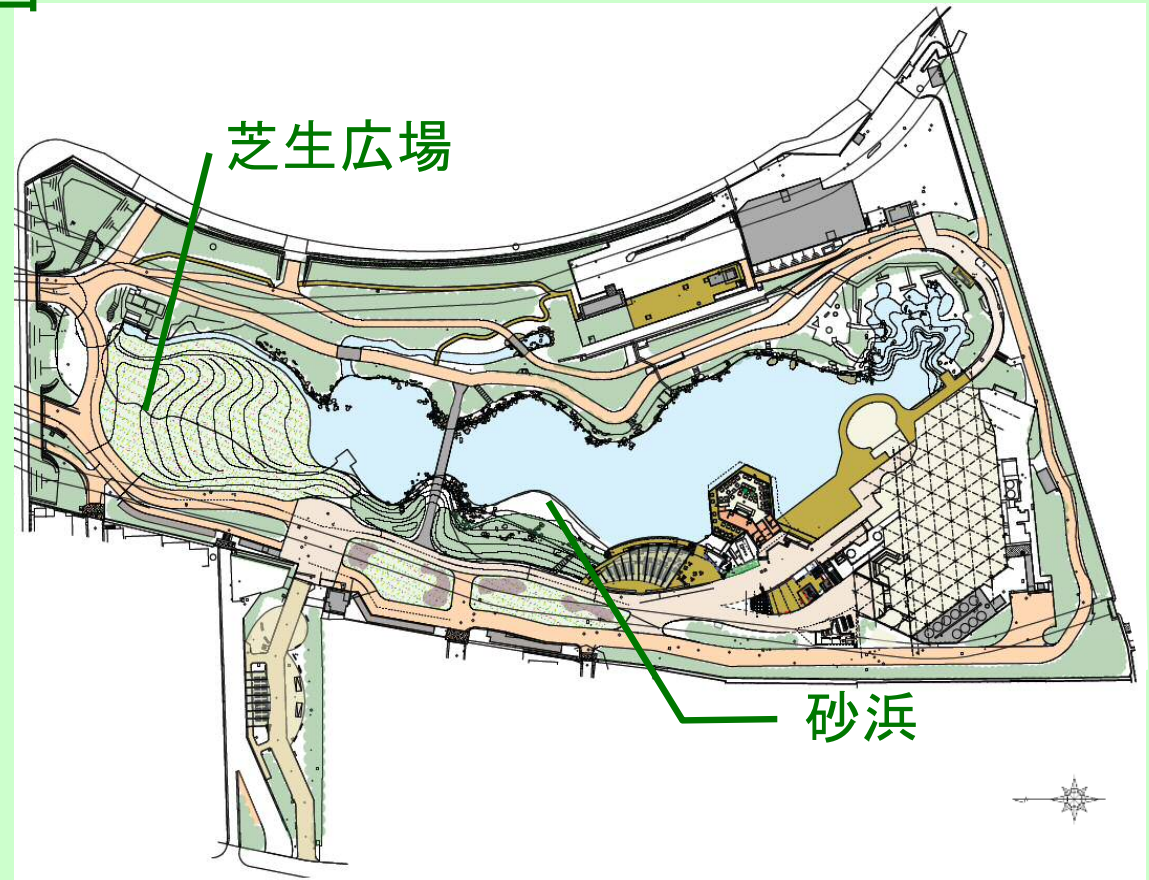
※水族館およびレストランにつきましては、建て替え等の計画はありません

改修計画（勝島の海）

現況



計画

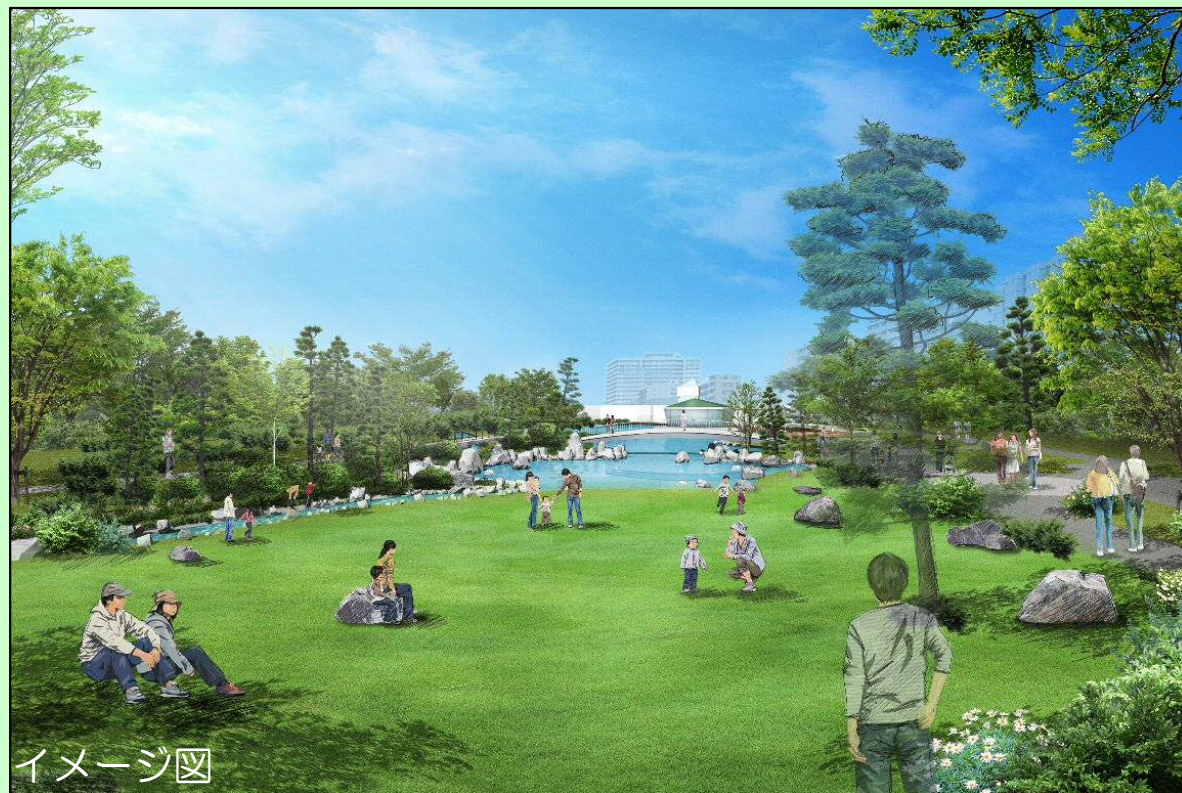
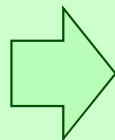


▶改修計画

- ・ 休憩スペース等の広場が不足しているため、約10,000㎡の勝島の海を縮小し、約2,000㎡の芝生広場を設ける
- ・ 水辺に接することができる砂浜を整備する
- ・ 噴水や水中ポンプにより水質を改善する

改修計画（勝島の海）

改修イメージ（芝生広場）



改修計画（勝島の海）

頂いたご意見

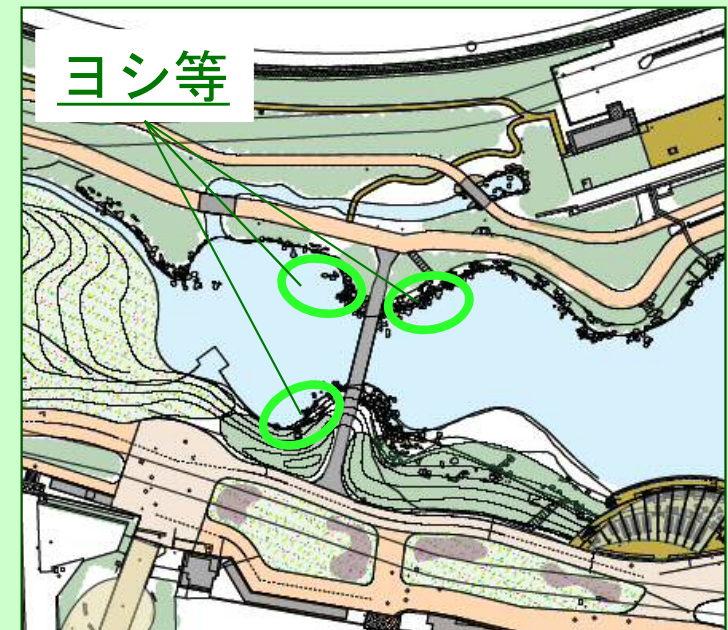
◎野鳥への影響について確認したい

▶調査結果

- ・ 9目23科32種を確認
- ・ 重要種はダイサギ、ヒメアマツバメ、カイツブリ、コサギ、オオバン、イソシギ、トビ、モズの8種
- ・ 営巣⇒スズメ
幼鳥⇒ハシブトガラス、シジュウカラ、ムクドリ、スズメ

▶対応方針

- ・ 重要種については、採餌目的による利用が主と考えられることから、採餌対象となる小魚やエビ類などの生育に適した水生植物が繁茂する場所や石組み等を設置
- ・ 採餌時の止まり場として水際の杭やヨシなどを整備



改修計画（勝島の海）

頂いたご意見

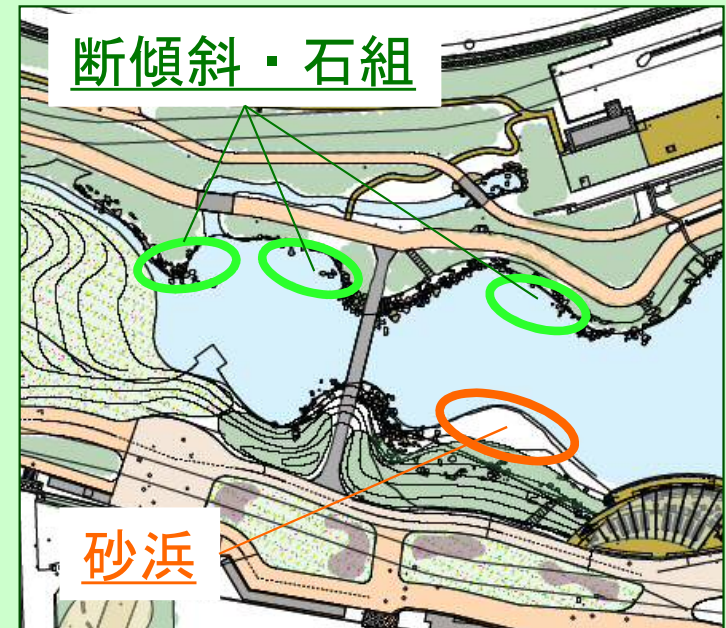
◎魚類はどのようにするのか

▶調査結果

- ・ 2目4科7種を確認
- ・ 重要種はミナミメダカ、ビリンゴ、アベハゼ、チチブの4種

▶対応方針

- ・ 工事中において、勝島の海にある魚道の利用や、水族館と連携して一時的な蓄養や繁殖を実施する
- ・ 工事後においても、魚類相を再生、充実させるために、砂浜やヨシ群落などの断傾斜かつ自然的な水際を確保するなど、多様性の高い環境を確保する



改修計画（勝島の海）

頂いたご意見

◎遊具の設置について

▶対応方針

- ・芝生広場に遊具の設置は行いませんが、水族館アプローチに右のようなモニュメントを設置し、子どもの遊び場（中央ゾーン）に誘導する仕掛けを行います

◎海水の湖としてアピールについて

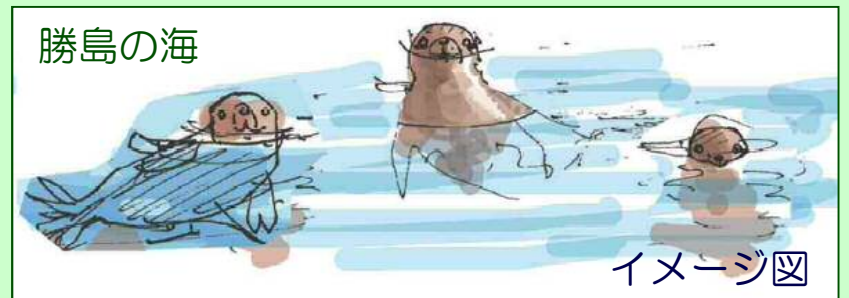
▶対応方針

- ・潮汐を連想する水位変動によって、設置したモニュメントが顔を出す仕掛けを行い、海水であることを想像できるものにします

水族館アプローチ部



勝島の海



改修計画（園路）

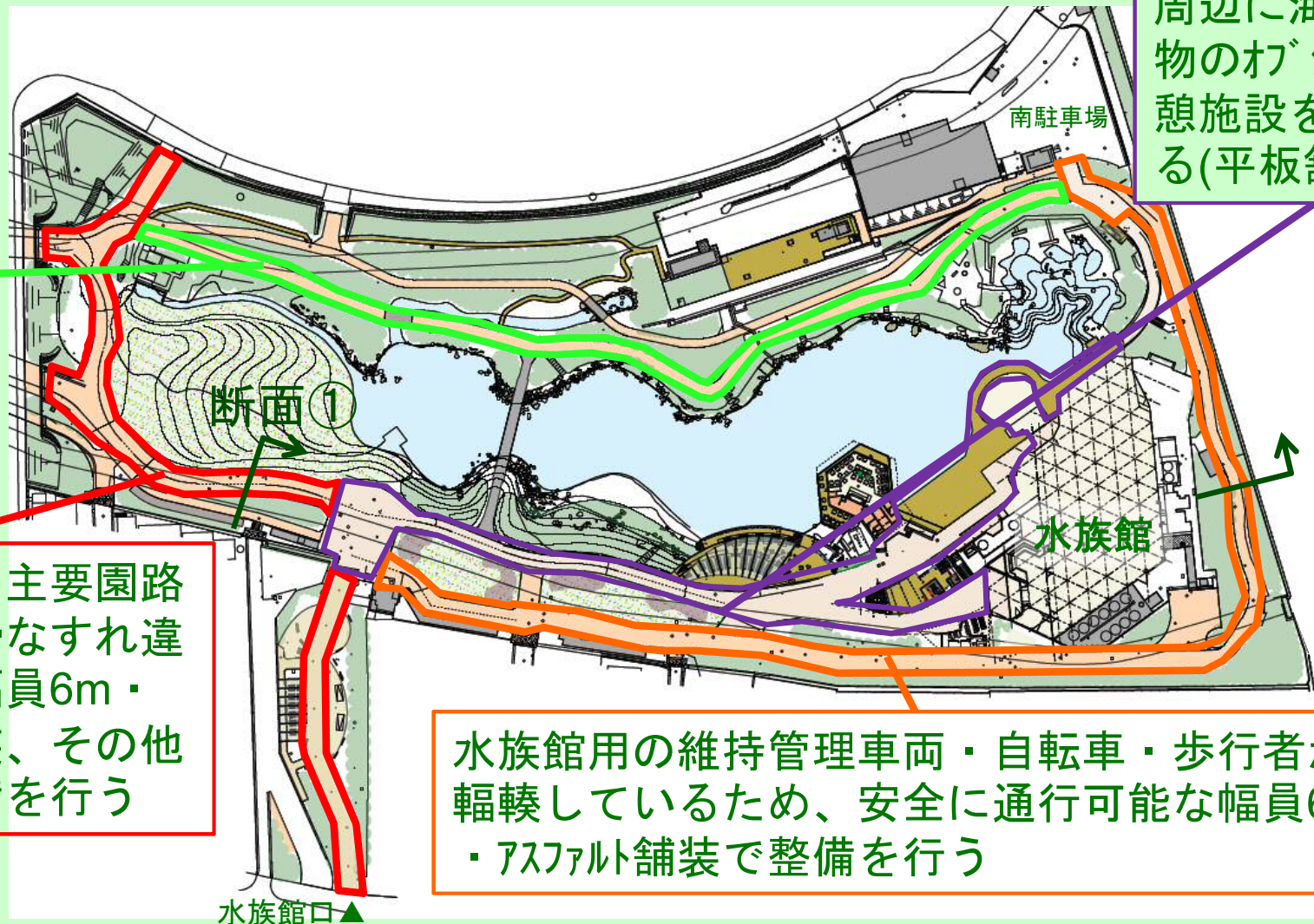
▶改修計画

- ・ バリアフリーの観点からアスファルトもしくは平板舗装で整備
- ・ 現状の利用実態や想定される災害時での活用方法から幅員を設定

歩行者等の円滑な通行が可能な幅員4m・アスファルト舗装で整備を行う

災害時に活用する主要園路と位置付け、円滑なすれ違いが可能な幅員6m・水族館口平板舗装、その他アスファルト舗装で整備を行う

水族館の魅力向上のため、園路周辺に海の生き物のオブジェや休憩施設を整備する(平板舗装)



水族館用の維持管理車両・自転車・歩行者が輻輳しているため、安全に通行可能な幅員6m・アスファルト舗装で整備を行う

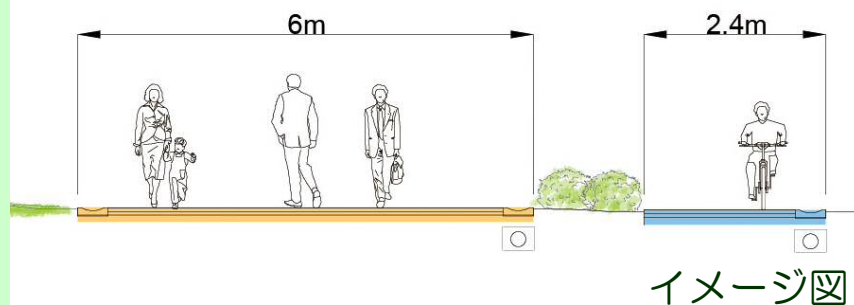
改修計画（園路）

改修イメージ（園路）

現在の主要園路（断面①）



計画



現在の水族館裏（断面②）



計画

